

Maruka News

2024
APR
No.
710
マルカニュース

2024年7月5日発行
編集・発行 / 株式会社マルカ
<http://www.maruka.co.jp>
〒540-0024 大阪市中央区南新町1-2-10
TEL.06-6450-6823



今号に掲載した皆さんの所属は、2024年6月30日現在のものです。
本誌情報の無断転載・複写を禁じます。本誌は、個人情報や社内情報を含むため、取扱いには十分注意をお願いします。

マルカニュース No.710



マルカ



誠心(まごころ)は力なり

「一心以て万友と交わるべし、二心以て一友に交わるべからず」という教えがある。「一心以て万友と交わるべし」には、全ての人々に対してまごころを持って接することが友情を築くための必要条件であるという意味が込められている。また、「二心以て一友に交わるべからず」という部分は、一つの友情を大切にすることは裏表のない態度を貫くべきであり、下心を持たないことが大切であるということ。この教えは、多くの人と深い友情や信頼関係を築くためには、誠実かつ真摯な態度で接することが重要であることを示している。

さて、当社には、創業者から受け継がれる「人生は誠也」という理念がある。「誠」とは「誠実」「誠心(まごころ)」のこと。儒教の教えである五常(仁・義・礼・智・信)これらすべての心が備わり、形となって表れた行動が「誠」であり、社内外に亘る人間関係、相互信頼の基盤となるものである。私たちは、自分に与えられた義務をただ遂行する、やるべきことさえこなしていれば良いというのではなく、日々の営みの上で「誠心(まごころ)」を大切にしなければならない。

最近では、企業や経営者の倫理観・社会的責任が大きくクローズアップされるようになり、不誠実な行いで信頼を失う事例をよく

見聞きする。明確な悪意をもってなされた行為もあれば、会社や社会のために良かれと思いついたものの、結果的に法令違反を犯していたというケースもある。いずれにせよ、目の前の問題に対して本質的な解決を怠り、リスクを回避して易きに流された結果である。人間は余裕を失うと、本来手段であるべきものが目的にすり替わり、公の立場を忘れて私的な問題に心を奪われることがある。そして、知識や能力の不足を隠そうという下心が生まれ、公正さや誠実さを欠いた行動をとってしまう。

私たちが目指すのは、他者との関係を築く中で誠実で真摯な態度を貫き、個人の利害を超えた協力関係を構築することである。誠実で真摯な態度を持ち続けられれば、周囲とのつながりが強くなり、共に目標に向かって進む意識が生まれる。その結果、良好な人間関係や環境が整い、組織全体の目標達成にも繋がっていく。誠実な態度を保つことは、他者との信頼関係を築くだけでなく、組織や社会全体の成長にも貢献する力となる。「人生は誠也」を社会人としての重要な心構えとして、忘れずにいたい。

利益の源泉

会社は世の中に価値を提供するために存在し、その対価としてお客様から得られるものが利益である。当社では、独自のマーケティング機能やシステム機能を活用し、お客様のニーズを満たすシステムを創造開発し提供することを使命としている。

マーケティングとシステムエンジニアリングに掛かる費用は、企業が競争力を維持し成長を促進するために不可欠な要素である。顧客のニーズを満たした上で、その生産性向上や省力化、省人化、環境保護などへの貢献を実現させるためには、情報収集やシンクタンクの活用、海外調査、金融などのセールスおよびマーケティング活動に加え、工場診断や専用機の設計、輸送などのプロセスにも多額の費用が発生する。また、長期にわたり多くの人が取り組むため、人件費やその他の費用も必要となる。これらを当社のソフトウェアと捉え、その費用の総額が当社の付加価値となる。

選択と覚悟

人生は、連続する選択の積み重ねである。例えば、ランチに何を食べるか、休日をどう過ごすか、今の仕事に専念するか転職を考えるかなど、無意識の選択から人生を左右する重要な選択まで、一つ一つの決定が今の自分を形作っている。特にビジネスにおいては、入社1年目から5年目、課長、部長へと影響度が増すにつれて、選択することの重みを実感することになる。

選択することは、ある意味で諦めること、捨てることでもある。望んだ結果が得られなくても、過去に戻ってもう一方を選び直すことはできない。つまり、選択とは正しい道を選ぶことではなく、自分を賭ける道を選ぶことである。たとえ途中で行き止まりに遭遇しても、それを克服すると覚悟を決め、選択した道が正しいと思えるまでやり抜く信念が必要なのである。

このように、自分の選択に責任を持つということは、人生を主体的にするためにも大事なことであり、今が過去の選択の結果ならば、

ビジネスの本質は、顧客が求める価値に自社の強みをもって応えること。お客様が本当に必要としているものを感じ取る能力と、それを具体的な形にする技術を磨き続けることが重要である。また、優れた製品やサービスがあっても、それを積極的に市場にアピールしなければ売れることはない。利益は無意識的に得られるものではなく、主体的に売る姿勢が大事なのである。

我々は、多くのお客様に喜ばれる価値を生み出していかなければならない。「こんなサービスが実現できたら、お客様に喜んでいただけるはずだ」と、ワクワクしながら仕事をする気持ちを大切にしよう。

もちろん、そのようなサービスを生み出すのは簡単なことではなく、身を削るような努力が必要である。お客様の課題に真摯に向き合い、自分が携わる商品やサービスに創意工夫を加え、改善し続けることが私たちの価値の基盤となる。

未来は今から先の選択の結果である。自分にとって望ましい状況や目標を達成するためには、必ずそれを実現させるための思いや努力が存在する。時には誰かと比較することで、他者の成功を羨ましく思い、自分の選択を後悔することもある。しかし、その背景にある要因を冷静に洞察し、それを自己の成長の原動力として取り入れることができれば、自身の選択肢の幅が広がり更なる成長に繋がる。

私たちは、一人ひとりが人生の主人公として、それぞれの道を歩んでいる。望ましくない流れを断つのも、それに流されるのも自分自身が決めることである。その選択は尊重されるべきであり、良し悪しを判断されるものではない。大切なのは、それぞれが心から納得できる選択をし、その結果に責任を持つ覚悟することである。それが自分自身の成長と充実感を築くことに繋がり、より良い人生が拓けるのである。

2024 入社式

4月1日に2024年度新入社員の入社式を執り行いました。

昨年まではマルカ単独で実施していましたが、今年は、マルカ・フルサト工業・ジーネット・岐阜商事の4社合同で実施し、オンラインでの参加も含め総勢35名の新入社員が出席しました。



マルカの新入社員は7名で、緊張した面持ちではありましたが、それぞれが飯田社長からの入社辞令を受け取り、今後の抱負や自己紹介を行いました。また、東京産業機械第三部へ配属された鐘奕姫(チョン イヒン)さんが、新入社員を代表して誓いの言葉を述べました。その中で「これから訪れる大きな変化を楽しみながら、新しい発見や気づきや学びを自らの成長に繋げ、他にはないユニークな発想を創り続けて参ります。」と今後の決意をしっかりと口調で語ってくれました。

フルサト・マルカホールディングス株式会社古里社長からの祝辞では、新入社員へのお願い事項として「相手や組織を意識したコミュニケーションを取る」と「様々なことに挑戦すること」、「多様性を尊重するため、偏見や先入観をなくし、自分自身を変化させていくこと」などをお話しいただきました。



入社式終了後は、グループ4社合同で会社への理解を深めるための講義やビジネス基礎研修、マルカ単独での研修、メーカーの工場訪問など、4月19日まで3週間の研修期間を過ごしました。そして4月22日に各部門へ配属され、業務を開始しております。これから様々なことを経験し、成長していく姿を楽しみにしています。

(人事部 福本 直弘 記)

広州事務所移転



広州マルカは、この度、新しい事務所に引越しました。

これは、上昇気配の無い、且つ先が見通せない市況を考慮し、引越してコスト削減し、新たなステージへ向けて動き出す事を意味しています。

広州マルカは、市場環境の変化や自社開発のニーズを背景に、コスト削減と競争力強化を図るという重要な決断のもと、事務所移転することを決定しました。引越しにあたり、家賃の節約だけでなく、地理的環境、交通の利便性、駐車場の利便性などの要因を総合的に考慮し、引越しが長期的な経済的利益をもたらしてくれると確信しています。

数日間の集中的な作業の後、無事に引越し作業が完了し、3月26日、新事務所が正式にオープンしました。新しい職場では、従業員が高い熱意と前向きな仕事態度で業務に取り組んでいます。事務所環境は変わりましたが、広州マルカの将来の発展に対する全員の自信は衰えていません。

この動きは、事務所関連のコストを40%削減しただけでなく、将来の成長に新たなエネルギーを注入することにもつながりました。新しい事務所環境において、鋭い市場洞察力を維持し、営業力とサービスレベルを継続的に向上させていきます。事務所は築3年と新しく、又渋滞から解放されて効率良く営業活動を行う事が出来、従業員にとってより快適で便利な職場環境を実現することができました。

今後発生する新たな課題に対し、全従業員が一丸となって取り組んで参ります。全従業員が力を合わせれば、広州マルカはより輝かしい成果を上げられると信じています。



CG 丸嘉已搬入新办公室。

这意味着,虽然市场状况没有好转,未来不可预测,CG丸嘉将积极应对,通过行动降低成本,迈向新发展阶段。

随着市场环境的变化和企业自身发展的需求,CG丸嘉公司近期做出了一项重要决策——搬家,以削减成本,提升企业的竞争力。

在过去的一段时间里,CG丸嘉公司面临着日益增长的运营成本压力。为了应对这一挑战,公司高层经过深思熟虑,决定通过搬家来削减成本。在搬家过程中,公司不仅考虑到节省租金,还综合考虑了地理环境、交通便利性、停车方便等因素,以确保搬家后能够为企业带来长期的经济效益。

经过几天的紧张忙碌,CG丸嘉公司顺利完成了搬家工作。在3月26日新办公室正式开始营业。在新的办公场所,员工们展现出了高昂的工作热情和积极的工作态度。虽然办公环境有所改变,但大家对于公司未来发展的信心并未减少。此次搬家不仅帮助公司削减了40%办公室相关联成本,还为企业的未来发展注入了新的活力。在新的办公环境中,CG丸嘉将继续保持敏锐的市场洞察力,不断提升企业的销售能力和服务水平。同时,新办公室的大厦才新建成3年,没有交通拥堵,可以高效地进行销售活动。公司还将更加注重员工福利,为员工创造一个更加舒适、便捷的工作环境。

面对未来的挑战和机遇,CG丸嘉将以更加坚定的步伐迈向新的发展阶段。我们相信,在全体员工的共同努力下,CG丸嘉一定能够取得更加辉煌的成就。

Determination to work abroad

海外赴任の決意



広州丸嘉貿易有限公司 中島 勝矢
董事長

你好(Nǐ hǎo)!

私にとって今回は、5度目の海外赴任となります。
思えば、7年いた米国では911(同時多発テロ)、2度行ったインドでは、リーマンショック(2008年)とコロナによるロックダウン(2020年)を経験しました。タイでは、軍事クーデターの真っ只中(2014年5月)に赴任、及び在位史上一位の国王様崩御という出来事にも遭遇しました。

やはり中国でも何かあるのでしょうか、と不安一杯に中国は広州市に降り立ちました。中国の中でも広州は特に発展著しいのですが、不動産バブルが弾け、米中対立と電動自動車の台頭もあり日系自動車の販売に陰りが見え、経済的には先が見通せません。栄華を誇った丸嘉中国も厳しい状態が続いていますが、営業担当者も非常に頑張っています。私は中国語をこれまで全く勉強した事がなく、本当に不安しか無い状態で赴任しましたが、彼らと一緒に少しでも業績を伸ばせるよう、方策を考えて行きたいと思っています。

私生活では、インドの様に買い物で騙されそうな雰囲気は無さそうです。サービスはお世辞にも気が利くと感じる事は少ないですが、自分達のサービスはしっかりとやり遂げようと云う責任感に似た誇りのようなものは感じます。

昔、テレビCMで「食は広州に在り」と観たのを記憶していますが、食べ物は美味しいので非常に有難いです。油濃い、味も濃い中華料理の中では、日本人好みの薄味、塩味は助かりますし、食への拘りが強く感じられ、食事、味覚を大切に扱っている影響か、日本食のレベルも海外の中では非常に高いと感じます。

今回の海外駐在は、私の会社員生活における集大成のつもりで頑張りますので、皆様、どうぞ宜しくお願いいたします。

勤続20周年 インタビュー

フードシステムソリューション部 安藤 幹雄



1 20年間で大変だったことや一番嬉しかったことのエピソードを教えてください。

私は工作機械の知識のみでマルカに中途入社しましたが、入社当初はプレス機、射出成形機について無知だったため大変苦労しました。上司やお客様からプレス機の基本からご指導いただき、何とか乗り越えてきた記憶が強く残っています。また、あるお客様とは個人的な親交ができ、14歳年上の方ですが「師匠」と呼べる親友ができたことが私のマルカ人生での財産です。このことは現在進行形で一番嬉しい事です。

2 ご自身のキャリアを今後どうしていきたいかを教えてください。

機械の知識は年齢に比例して持っていますので、若手にこの知識を伝えていきたいです。機械はとても面白いので、勉強会を積極的に実施していこうと、最近では若手向けに勉強会を実施しています。また海外駐在の経験も含め、仕事の楽しさを周囲に伝えていければと思います。

3 若手社員へのメッセージをお願いします。

楽しむことや笑顔を忘れずにいてください。失敗しないように、完璧に物事をこなそうとばかり考えないでください。ワクワク感を持って、仕事も趣味も興味を持って楽しんでください。辛いことは何度も来ますが、そんな時こそワクワクするなあ、と口に出して笑い飛ばしてください。「ワクワクするなあ」私の尊敬する上司が教えてくれた言葉です。

フードシステムソリューション部 森下 周平



1 20年間で大変だったことや一番嬉しかったことのエピソードを教えてください。

嬉しかった事は、希望していた中国上海への海外赴任ができた事です。赴任した2008年からの6年は、中国不動産バブルの中、四川大地震、北京五輪、リーマンショック、上海万博、反日デモと、様々な事がありました。そんな中、中国の文化や商売を学ぶ事ができ、その経験が今にも生かされていると思っております。また、中国人の仲間ができた事も、嬉しかったです。大変だったことは、昔の東京の独身寮が、とても狭かった事です(トイレ風呂共同)。

2 ご自身のキャリアを今後どうしていきたいかを教えてください。

入社後の15年間、希望していた自動車メーカー&部品メーカー向けの産業機械営業を経験させて貰いました。現在、私の所属するFOSSは、食品機械営業という新規事業部です。世界に誇る日本のコンビニエンスストアを支える工場が全国各地にあり、海外向け含め、可能性を感じております。私の目標は、今後FOSSを産業機械本部や建設機械本部に負けない立派な事業部にする事です。

3 若手社員へのメッセージをお願いします。

これは私自身にも言える事ですが、人間必ず間違いや、失敗はしてしまうものです。重要なのは、同じ失敗を繰り返さない事だと思います。また、若手社員であるメリットを意識し、強みにしていただければと思います。できるだけ沢山の同僚や、お客様、メーカー様と会話をし、分からない事を聞ける人を作っておく事をお勧めします。ただ闇雲に聞くのではなく、まず自分で考えるというプロセスを踏んでいるかどうか重要な点です。

フルサト工業・ジーネット 新物流センター

UNISOL L.C.OSAKA

2024年1月31日、おおよそ2年の歳月を掛け、フルサト工業・ジーネットの新物流センターであるUNISOL L.C.OSAKA(ULCO)が竣工し、5月7日より正式稼働しました。

大阪府堺市の阪神高速4号湾岸線三宝ICから車で3分の好立地に、敷地面積9,438m²、延床面積15,843m²の鉄骨造4F建ての物流センターを建設し、大阪市港区にあるフルサト工業大阪配送センターと東大阪市にあるジーネット大流センターの2カ所の物流拠点を集約しました。既存2カ所の物流センターと比べると、約2倍の広さがあり、建物を一通り見学すると、ちょっとしたウォーキングになります。



建物南側の外壁には、とても大きな「UNISOLマーク」のサインが付いています。夜間には、鮮やかなUNISOLカラーで光ります。

ULCOは、屋根に設置した太陽光発電設備により、事務所棟で使用される電力を補うように設計され、環境省ZEB(Net Zero Energy Building: ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)認証を取得し、自動倉庫システム・移動式パレットラック・無人搬送機(AGV)などの最新の省力化・省人化設備による業務効率化や、倉庫内安全通路の確保や休憩室の新設等、社員の労働環境をより安全に、働きやすい職場形成など、様々な面で、当社のサステナビリティ推進を表した建物になります。

また、自社グループのセキュリティデザイン株式会社が販売する最新セキュリティシステムを導入し、防犯面はもちろんですが、ULCOで実際に利用している状況をお客様に見学して頂きながらPRを行える施設として活用する予定であり、グループシナジーが生まれることを期待しています。

ULCOが、グループの物流戦略を担う主要拠点としてだけでなく、様々な面で、グループ全体に貢献していけるよう、センター員一同、頑張っていきたいと思えます。

(フルサト工業 西井 元一 記)



無人搬送機(AGV)システム

商品を専用パレットに積むと、無人搬送車(AGV)が動きだし、指定場所へ商品運びます。例えば、1Fで商品を積むと、オペレーターが操作せずとも、自動で専用エレベーターに乗り、4Fの指定場所まで商品運ぶ、とても優秀なロボットです。休憩することなく、動いてくれますが、たまに機嫌を損ね、動かなくなるときもあります。



倉庫内写真

自動倉庫システム



パレット積み商品を保管する大型自動倉庫と小箱商品を保管する自動倉庫があります。指定場所にパレットや小箱を置くと、自動的に空いたスペースへ保管されます。出庫作業もデータ送信すれば自動的に出庫エリアにパレットや小箱が到着します。

移動式パレットラック



パレットラック自体が移動することにより、保管場所の省スペース化が図れ、より多くの商品を保管することが可能になりました。



1F事務所



2F休憩室

ZEB認証プレート





健康経営優良法人を目指して

健康経営優良認定制度とは

特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから社会的な評価を受けることができる環境を整備することを目的に日本健康会議が認定する顕彰制度で、2017年から始まりました。

昨今、社会全体で「従業員が心身ともに安心して健康的に働くことができる職場環境」を求める気運が高まっており、注目されるようになったのが「健康経営」という言葉です。

フルサト・マルカホールディングス株式会社は、健康経営優良法人の認定を受けており、当社も認定取得に向けた取組を進めて参ります。

「健康経営」とは

従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。企業理念に基づき、従業員への健康投資を行うことは、従業員一人ひとりの健康管理をサポートでき、モチベーション向上・生産性の向上へとつながることから結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。



出典:ACTION健康経営

多くの企業が積極的に健康経営に取り組むよう、設けられたのが健康経営優良法人認定制度。規模の大きな法人を対象とした「大規模法人部門」、中小規模の法人を対象とした「中小規模法人部門」の2部門に分かれており、それぞれで健康経営優良法人として認定します。2024年の健康経営優良法人への認定法人数は大規模法人部門が2,988法人、中小規模法人部門が16,733法人と年々認定企業が増えております。*1

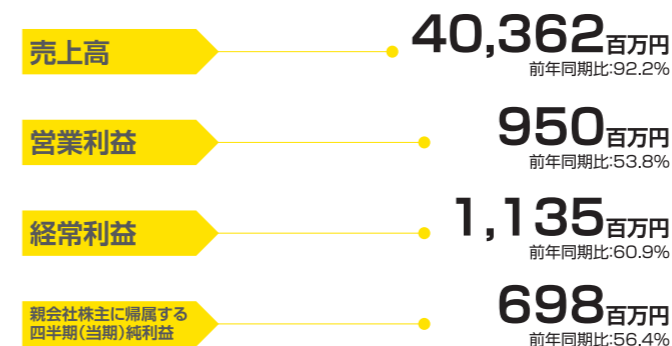
※1 年別健康経営優良法人認定法人数

	2017年	2021年	2022年	2023年	2024年
大規模法人部門	235	1,801	2,299	2,676	2,988
中小規模法人部門	95	7,934	12,255	14,012	16,733

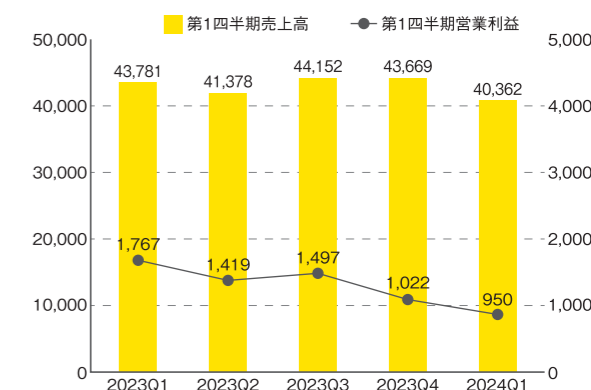
2024年12月期 第1四半期決算発表を行いました

フルサト・マルカホールディングス株式会社の第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は40,362百万円と前年同期比3,418百万円減(7.8%減)となりました。損益面では、減収の影響に加え、主要製品の販売減少等による利益率の低下により、営業利益は950百万円と前年同期比816百万円減(46.2%減)となりました。経常利益は1,135百万円と前年同期比728百万円減(39.1%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は698百万円と前年同期比539百万円減(43.6%減)となりました。

2024年12月期 第1四半期 連結決算サマリー



フルサト・マルカホールディングス 通期業績推移



マルカの動き

- 4/ 1: 2024年度新入社員入社式
- 5/11: 中国全体会議
- 5/13: フルサト・マルカHD 第1四半期決算発表
- 6/ 7: 東南アジア全体会議
- 6/11: 国内責任者会議



入社式



東南アジア全体会議



中国全体会議